

平成29年度第3回広島市都市デザインアドバイザー会議 会議要旨

1 開催日時 平成30年(2018年)3月22日(木) 10時15分～11時20分

2 開催場所 広島市役所本庁舎14階第3会議室

3 出席者

(1) 出席委員(6名)

岡河 貢、伏見 清香、田中 貴宏、鰐澤 達夫、柏尾 浩一郎、中城 秀典

(2) 欠席委員

高田 由美

4 議事

児童相談所及びこども療育センター建替えについて(3回目会議)

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者 一般傍聴者 0名、報道関係傍聴者 2社

7 会議資料

会議次第、委員名簿、広島市側出席者名簿、配席図

議事資料 児童相談所及びこども療育センター建替えについて(3回目会議)

8 議事要旨

これまでの検討での委員からの意見等を踏まえた最終的な設計内容について報告を行った。委員から施設の印象を明るく、若々しくするための工夫について意見があり、主に次の事項について、個別に委員に相談して助言をいただくこととなった。

(1) 色彩・素材について

庇に中彩度色を使用するなど、色彩について検討を行う。

(2) 壁面ルーバーの仕様について

ルーバーの一部にガラスの使用が可能か検討し、可能な場合はデザインについて検討する。

【会議概要】

○金澤都市デザイン担当課長

開会挨拶、出席者紹介、配布資料確認及び議事説明

○岡河座長

本日の議事について説明をお願いします。

○橋本営繕課課長補佐

議事「児童相談所及びこども療育センター建替えについて」について、これまで2回開催した会議での委員の意見等を踏まえた最終的な設計内容を報告

○岡河座長

検討の結果を説明していただいたが、今日は仕上げの質感などについて検討するので、見本を委員が近くで見て確認したいと思う。使用箇所などについても確認していただきたい。

(実物確認)

○岡河座長

まず、鰻澤先生、外観全体のバランスについてどのようなイメージを持たれたか、アドバイスをお願いしたい。

○鰻澤委員

言いにくいですが、全体的に年寄りくさく、少し落ち着き過ぎていると思う。

先ほどの説明では、この建物はあまり目立たないほうがよいとの印象を受けたので、このようにいろいろな素材が混在していて、若々しさがまるでないほうがいいのかなどは思う。私としては、できれば建物は豊かで健康的で若々しくあってほしいと思う。

一番気になったのは土の壁で、色彩は落ち着いてはいるが、外構に使用する黒御影のような石材とグレーの色がまざった大理石のような石材とが重なって混在しており、少しすっきりしない印象を受ける。反対に少し素材を絞っていくとか、同じようなものにしていくとか、そのほうが主張がはっきりするような気がした。素材に関しては、もう少し明るくしてもいいのかなと思う。色彩は個人的な趣味もあるとは思いますが、私の印象はそうである。

○柏尾委員

前回、地味で、病院やオフィスのようなだという意見が委員から出て、今回の変更となったと思うが、私は鰻澤委員が言われたように、利用者の年齢をまず考え、それから利用者の精神状態を含めたことも考えると、この色彩はどうかと思う。

先日仕事で、新しくオープンする病院併設の老人介護施設を視察したが、施設で働いている方に聞くと、低彩度の色彩は使わないほうが良いという思いを持っているようだ。この施設においても、できるだけ、もう少し明るく、カラフルさを感じられるようなまとめ方が必要だと感じている。

一つ一つを見ていくと、メインの外壁タイルは今の外壁のトレンドでもあり、質感も高く、上質に見える。このタイプのタイルを使うのはいいことだと思うが、ほかの部分でももう少し調整が必要だと思う。一階部分の土壁調のタイルの素材が落ち着き過ぎている感じが強い。特に今回、子供の中でも児童という年齢なので、それを意識して、素材や色をまとめていく必要があると思う。

次に、3ページのパースのイラストでは、桜が咲き、芝生があり、木々は新緑で、青空である。カラフルさという面では、これはとても条件がいいときの見え方であり、実際にこれだけカラフルな色が同時に存在することはない。資料ではオレンジの枠で変更箇所を囲ってあるが、このオレンジの色味も実際にはないわけで、彩度感としてはさらに低くなる。私のアイデアであるが、もう少しカラフルさ、色味を出していくときに、今、オレンジの枠で囲っている範囲くらいのボリュームで中彩度程度の有彩色を入れたらどうかと思う。

例えば、庇の縦面もしくは下面だけに有彩色を入れてはどうか。各階で同色とすることも考えられるし、階によって色相を変えていく方法もある。ただ、全部の棟の庇に色をつけてしまうと量的に多いので、例えば中央棟の二階、三階部分の庇だけでも、そうした処理をすることで大きく印象が変わるのではないかと思った。全体的に色彩についてはかなりの調整がまだ必要な段階だと思う。

○中城委員

今回の設計内容は、前回から形状や構造をあまり変えず、色で勝負するような感じになっている。また、植栽についても、外構や光庭、渡り廊下のところにはあるが、それ以外に植栽がないということが気になる。

木調ルーバーについては、ずっと温かみのある木調のままなのか、だんだん古くなって黒くなっていくのかということが気になった。

○伏見委員

先生方と同じような意見だが、やはり見た目が重たい感じがする。言葉を変えると、透明感がないと第一印象で思った。素材の整理も必要だと思う。それと気になったのが、一階の土壁の北側はかなりカビが生じるのではないかということだ。ざらざらした素材を使

っているので、経年変化でどう変わっていくのか気になった。

また、木調ルーバーもかなり目立つので、例えばガラスのサンドブラストにしてみるなど、もう少し軽い印象にできないか。リズムカルな感じがしないので、ここも少し検討が必要かと思った。

アクセントとなる有彩色と、ガラスやアクリルなどによる透明感など、若々しさをどう表現していくかということだと思う。

○田中委員

一見したときには、いいと思ったが、確かに委員の皆さんの話を伺っていると、色などに関しては、子供が利用するというのをもう少し考えてもよいと思った。

屋上の塗装に使用する高反射率塗料の色が三つあるということだが、反射率は異なるのか。

○営繕課 長谷川技師

今、示している三つは標準色で、反射率はほぼ同じである。

○設計業務受託者

高反射率塗料の性能を確保しようと思うと、これぐらいの色でないと性能が発揮できないと聞いている。

○田中委員

屋上はほとんど人が行かないところなので、反射率優先でもいいと思う。

また、エントランスのシンボルツリーをできる範囲でもう少しシンボルっぽくしてもいいと思う。できるだけ緑を増やすということには可能な範囲で対応していただけていると思う。

○岡河座長

全体の印象だが、一階の外壁を見たときに、やはり落ち着き過ぎている。広島だと幟町のカテドラルがグレーとベージュを使っていて、このバランスが一番近いと思うが、子供の施設としては落ち着き過ぎていると思う。柏尾委員と鰐澤委員に、軒裏か軒の雨垂れ部分に何か処理ができないか、有彩色で今の色彩とバランスが取れるような色があるかということについてご意見をお聞きして、再度検討してはどうかと思う。

軒先は恐らく白いと思うので、何年か経てば雨垂れの黒い筋が何カ所か見えてくると思う。幟町の教会はその汚れまで美しさの中に取り込んでいるが、吹付けタイルだと、なかなかそのようにはいかないと思う。ただ、色である程度工夫ができないか、鰐澤委員と柏尾委員にお聞きしたい。

広島市内の街中でこの色彩であれば相当くすんでいると思うが、この敷地は裏が山で、緑があるので、全体としてはアースカラーでバランスは取れるのではないかと思う。あとは、それにプラスアルファで、何か工夫できる可能性があればアドバイスをいただきたい。

○鰐澤委員

例えば、タイルの見本の一番明るいトーンと一番暗いトーンのものでストライプ状にすると、コントラストが強くなって、若々しくなるのではないかと感じた。男の人のシャツがストライプになっていたりすると、明るく若々しさを感じるように、エントランス辺りの壁に明るい色と暗い色がストライプ状に入ったり、つながっていたりすると、非常に若々しくなるのではないかと思う。可能であれば、この明るい外壁のところには何か模様のようなものが入ってくると、子供らしさ、児童らしさというものが出ると思う。

○岡河座長

サッシは恐らく全部シルバーだと思うので、土壁の色彩はサッシのシルバーとのバランスを考える必要がある。恐らく和風の建物との印象の違いが相当あると思う。和風の建物は木製の建具なので、それと土壁のバランスであるが、今回は、シルバーのサッシと土壁になるので、色のバランスに留意する必要がある。

○鰐澤委員

伏見先生が言われたが、木のルーバーも若々しさが無いので、ガラスの素材なども検討していただきたい。

○岡河座長

すりガラスみたいなものにすることも考えられるが、先端につけるので、落下の恐れがある。

ただ、人が出られない場所の上部であれば、すりガラスに変えることもあり得る。全部ガラスにすると少し冷たい感じがするので、折衷案になるが、木のルーバーとすりガラスを組み合わせることも考えられる。ガラス素材が入るときれいで、少し若々しい感じになるのではないか。

ルーバーについては、伏見先生から重たい印象だと意見があったが、私は、変更案では、何か少し寂しくなったように感じた。二階はルーバーが多くてもいいと思うが、三階は多いと重たい印象になる。今は接着して割れても落ちないガラスがあるので、予算の都合もあるが、二階部分のルーバーに幾つかガラス素材のものを加えると大分印象が違ってくるのではないか。

○橋本営繕課課長補佐

日射も考えているので、透過性が高いと役目を果たさない可能性がある。

○岡河座長

全てをガラスにするのではなく、ルーバーの一部分をガラスにすることや、ガラスの間にプリントしたフィルムを挟むことなども検討できないか。

例えば、緑色の葉っぱのようなパターンをプリントしたフィルムをガラスの間に挟んだものをルーバーの間に設置すれば、若い感じでいいものになると思う。色だけではなくて、もう一工夫あると印象が相当違ってくるのではないか。今は非常にシックだと思うので、プリントしたフィルムを使うなど、何か現代的な技術を使って工夫すれば、子供たちに元気な感じを与えられるかもしれない。

以前この会議で、広島駅新幹線口のペデストリアンデッキの歩道橋手すりのガラスについてアドバイスをしたが、あれは割とうまくいった。予算のこともあるので、あくまでもアドバイスであるが、あのようにフィルムを貼ることで落下防止にもつながると思う。もしその方向で検討できるのであれば、鰐澤委員と柏尾委員にアドバイスいただければと思う。

使用する有彩色は何色がいいのかと考えたときに、私は緑色かなと思う。思い切って紅葉の緑色にするというのもあるかもしれない。今はプリント技術が相当進んでいるので、予算の範囲でそれができればかなり印象が違ってくる気がする。

あくまでアドバイスなので、その辺りは予算を考えて検討いただきたい。色や柄のパターンの選択は大変難しいが、子供がいい気持ちで過ごせるよう、建物の設計でできることがあれば何とかしてあげたい。

○伏見委員

難しいかもしれないが、エントランスの軒裏に、ここに通う子供たちの絵を設置してはどうかと思う。

○岡河座長

いいアイデアだが、建物の外部でそれをやると大変だと思うので、建物の内側の壁のどこかに、子供たちが自由に展示したりできる場所を設けると、とてもいいのではないかと思う。優れたアート感覚の子もいると思うので、子供たちが何か作ったものを施設の中で展示できるようにすることも考えてみてはどうか。

今は大人目線で設計しているので、子供のことをできる限り考えて、この施設を設計していくことが大事だと思う。

とてもシックな建物だと思うが、シックになり過ぎず、子供独特の感受性みたいなものを何か感じられるような建物にすることが、大事になるのではないか。

具体的な検討事項としては二点あり、一つは、ルーバーのところでのガラスの使い方である。二階のところにガラスを使ったものを少し増やせば、かなり印象が変わると思う。

それから、建物の内部の壁に子供たちの作品を展示できるように検討いただければと思う。これは施設を運営される先生方とも相談が必要だと思うが、そのようなことができれば、子供目線の施設に近づけられるような気がする。

○中城委員

子供たちの絵ということで思い出したが、福岡の博多駅をリニューアルするときに、子供を含む市民に20センチ角ぐらいのタイルに葉っぱの絵を描いてもらい、その絵を青色の有田焼で1枚ずつ焼き、床や壁に埋めるイベントがあった。壁に埋めた絵の前面は透明なガラスで覆われており、ショーケースのようになっている。自分のタイルがどこに埋めてあるかは、インターネットで調べるとわかる。みんなが作った手作り感がありながら、格好いい感じにもなっている。

設計して建設すれば施設が完成するというのではなくて、施設を利用する児童が卒業する度に絵を描き、タイルで焼いて、どこかにはめていくような仕掛けをして、だんだんと完成していくというのもよいと思う。児童の作品を置けるショーケースのようなものを用意して、そこにどんどん入れていってはどうか。博多駅の例では、みんな結構ばらばらに絵を描いてはいるが統一感のようなものがあり、何かそういうアイデアがあるといいと思った。

○岡河座長

建物内部の廊下などの、ちょっとしたスペースの壁に子供の作品を飾り、ギャラリーにするのはいいと思う。子供の絵のタイルを使って、だんだんと施設を完成させていくというのはなかなか大変だが、施設のインテリアや展示に子供たちが何らかの形で参加することはとてもよいことだと思うので、検討いただければと思う。

○営繕課 長谷川技師

室内のアートについては、一部の廊下にデザインアートを計画している。委員の先生方が言われたように、施設の子供たちが参加してできるような形にすることについては、今後検討していければと思う。

○岡河座長

自分が利用する施設で何かを参加して作ったり、自分の作品が展示してあるというのは、

子供の気持ちを大きくプラスの方向にするような気がする。

他にご意見がないようであれば、本日話のあったルーバーの一部にガラスを使用することについて、何か検討する余地があれば、鰐澤委員や柏尾委員に何らかのアドバイスをいただいて、引き続き進めていただければと思う。

○久光営繕部長

先ほどの建物内部の展示については、広島市でも特別支援学校等では、絵などを単に張り出すだけでなく、いろいろないい取り組みしているので、その辺りを施設担当課とも協議しながら検討していきたいと思う。

庇の縦面と軒裏の色については、実施できるかどうか判断がなかなか難しいと思うが、いろいろ考えてみたい。

もう一つ御提案のあった、ルーバーの一部にガラスを使用するなどの工夫については、できるだけ取り込めたらいいと、今の時点では思っている。

そうしたことも引き続き検討していきたいと考えているので、今後、御相談させていただくときは御指導をお願いしたい。